

西尾市行政改革 第2次実行計画 (第3号)

平成11年10月18日決定

事務事業の見直しについて(その1)

	事業名(担当課)	今後の方針(要旨)	実施時期
1	市役所職員駐車場 (総務課)	1 駐車場利用料を適正な額に引き上げる。 2 職員駐車場の利用制限の導入を検討する。	平成13年度
2	表彰式、合同竣工式の開催 (人事秘書課)	1 表彰式は、文化体育賞と併せて12月15日の市制記念日に行う。会場は市役所大会議室等。 2 合同竣工式は廃止する。	平成12年度
3	市長交際費から職員慶弔費の支出 (人事秘書課)	1 職員本人の場合を除き、市長交際費から香典等の支出は止める。 2 互助会での対応を要望する。	平成12年度
4	千人委員会運営事業 (情報課)	1 千人委員会は、設立当初の目的を達成したものとし、今期限りで廃止する。 2 各事業の実施にあたり計画段階から市民の参加を求める。	平成12年度
5	広報にしおの発行 (情報課)	1 印刷業者の選定方法を入札とする等により経費の節減を図る。 2 発行回数については、現行どおり月2回とする。	平成12年度
6	市民交通傷害保険 (総務課)	民間の保険制度に委ね、本事業は廃止する。	平成13年度
7	敬老金、記念品の支給 (福祉課)	1 支給対象者を数え年85歳以上から「節目年齢方式」に改める。 2 支給対象者は数え年88歳と100歳以上の者とする。	平成12年度 (一部平成11年度実施)
8	無料人間ドック (保健センター)	1 人間ドック費用の30%程度を本人負担とすることが適当。 2 有料人間ドックの対象範囲、本人負担額について、見直しを図る必要がある。	平成12年度
9	看護専門学校管理運営 (看護専門学校)	参与は廃止する。	平成12年度

備考 「現状と課題」、「効果」は、別添のとおり

事務事業名	市役所職員駐車場 *予算 2・1・1（一般管理費）																								
担当課	総務課																								
現状と課題	<p>1 市役所に勤務する者のうち約500人が自動車通勤である。 *駐車場利用者証発行数 市職員 396人、水道・広域 79人委託等 22人</p> <p>2 職員の駐車場を確保するため、次のとおり借地している。</p> <table border="1" data-bbox="515 593 1310 831"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>面 積</th> <th>借地料</th> <th>駐車台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1（市役所南）</td> <td>2,544 m²</td> <td>0</td> <td>241台</td> </tr> <tr> <td>第2（水道庁舎南）</td> <td>2,328 m²</td> <td>5,762千円</td> <td>154台</td> </tr> <tr> <td>第3（郵便局前）</td> <td>1,285 m²</td> <td>3,342千円</td> <td>48台</td> </tr> <tr> <td>第4（県税事務所）</td> <td>1,359 m²</td> <td>3,433千円</td> <td>62台</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>7,516 m²</td> <td>12,537千円</td> <td>505台</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 平成10年度実績 利用料収入 2,924,500円 *利用料 月額 500円 借地料 12,536,621円 差 引 9,612,121円</p> <p>4 課題 (1) 職員駐車場を確保するため、多額の借地料を支出している (2) 自動車通勤を希望する職員全員について、駐車場を確保する必要はないと考えられる。なお、職員の負担は極めて低額である。 *西三河各市、市内事業所の状況 通勤距離により利用制限をしている事例、職員の駐車場を確保していない事例がある。 (3) 来客駐車場（市役所北庭）が満車状態になるときがある。</p>	区 分	面 積	借地料	駐車台数	第1（市役所南）	2,544 m ²	0	241台	第2（水道庁舎南）	2,328 m ²	5,762千円	154台	第3（郵便局前）	1,285 m ²	3,342千円	48台	第4（県税事務所）	1,359 m ²	3,433千円	62台	合 計	7,516 m ²	12,537千円	505台
区 分	面 積	借地料	駐車台数																						
第1（市役所南）	2,544 m ²	0	241台																						
第2（水道庁舎南）	2,328 m ²	5,762千円	154台																						
第3（郵便局前）	1,285 m ²	3,342千円	48台																						
第4（県税事務所）	1,359 m ²	3,433千円	62台																						
合 計	7,516 m ²	12,537千円	505台																						
今後の方針	<p>1 受益者負担の原則に基づき、駐車場利用料を適正な額に引き上げる。</p> <p>2 職員駐車場の利用制限の導入を検討する。</p>																								
実施時期	平成13年度																								
効 果	<p>経費の節減 約 6,700千円 *第3、第4駐車場を廃止、又はこの借地料を利用料で負担することとした場合。</p>																								
参 考																									

事務事業名	表彰式、合同竣工式の開催 *予算 2・1・3(秘書費)												
担当課	人事秘書課												
現状と課題	<p>1 毎年5月に全体町内会長会議と併せて開催している。</p> <p>2 事務 (1)被表彰者について、3月に町内会長、官公署、学校長、新聞社へ、4月に各部へ推薦を依頼し、4月下旬に表彰審査委員会を開催し、被表彰者を決定する。 (2)竣工事業について、4月に各部へ3千万円以上の事業の報告を依頼する。 (3)案内状の発送、式次第・パンフレットの作成など (4)案内先 ア 来賓 県知事、国会議員、県議会議員、幡豆三町長等 イ 一般 町内会長、官公署代表、学校長、新聞社、竣工事業関係者等</p> <p>3 表彰の状況</p> <table border="1" data-bbox="515 936 1310 1055"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>H11年度</th> <th>H10年度</th> <th>H9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治功労表彰</td> <td>3人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>一般表彰</td> <td>10人</td> <td>13人</td> <td>28人</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 課題 (1)自治功労表彰の対象者がわずかな数となっている。 (2)大きな事業は、単独で竣工式を実施している。3千万円以上の事業について竣工式を実施する意義は少ない。 (3)来賓、一般(町内会長以外)の参加者が少ない。 (4)町内会長から表彰式へ参加を求められることについて苦情がある。</p>	区 分	H11年度	H10年度	H9年度	自治功労表彰	3人	1人	0人	一般表彰	10人	13人	28人
区 分	H11年度	H10年度	H9年度										
自治功労表彰	3人	1人	0人										
一般表彰	10人	13人	28人										
今後の方針	<p>1 表彰式は、文化体育賞と併せて12月15日の市制記念日に行う。</p> <p>2 合同竣工式は、廃止する。</p>												
実施時期	平成12年度												
効果	<p>1 事務量の削減 事前準備 人事秘書課秘書係 当日、受付等の事務 10人×4時間</p> <p>2 経費の節減 約 128千円</p>												
参 考													

事務事業名	市長交際費から職員慶弔費の支出 *予算 2・1・3 (秘書費)																				
担当課	人事秘書課																				
現状と課題	<p>1 職員の弔事の場合、市長交際費から香料、供花等を支出している。</p> <p>2 香典等の支出実績</p> <table border="1" data-bbox="517 517 1334 678"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">平成9年度</th> <th colspan="2">平成10年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>香典</td> <td>30件</td> <td>190,000円</td> <td>42件</td> <td>235,000円</td> </tr> <tr> <td>献花</td> <td>2件</td> <td>42,525円</td> <td>3件</td> <td>36,750円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>32件</td> <td>232,525円</td> <td>45件</td> <td>271,750円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 他市の状況 (1) 市長交際費から職員へ香典等を支出 西尾市と豊田市のみ (2) 碧海5市は、平成11年度から市長交際費からの支出を見直している。 ・職員本人の場合のみ生花、枕花を交際費から支出する市がある。 ・互助会の対応 従来の弔慰金とは別に香典、生花を追加する。弔慰金の一部を香典とする。</p> <p>4 課題 (1) 交際費は、行政執行のために必要な外部との交際上要する経費である。 (市長が職員に対して慶弔等の場合に見舞等をするのは、外部とみるか内部とみるか必ずしも明確でないが、慶弔等の見舞等は私的な社会関係であることから職員個人は外部とみることができ、交際費から香典等の支出は適法とされている。) (2) 世論として市長交際費(税金)から支出することについて問題視されている。</p>	区分	平成9年度		平成10年度		香典	30件	190,000円	42件	235,000円	献花	2件	42,525円	3件	36,750円	計	32件	232,525円	45件	271,750円
区分	平成9年度		平成10年度																		
香典	30件	190,000円	42件	235,000円																	
献花	2件	42,525円	3件	36,750円																	
計	32件	232,525円	45件	271,750円																	
今後の方針	<p>1 職員本人の場合を除き、市長交際費から香典等の支出は止める。</p> <p>2 勤務先から香典、生花等がなくなることの親族等の思いに配慮し、互助会での対応を要望する。</p>																				
実施時期	平成12年度																				
効果	経費の節減 約 200千円																				
参考	<p>職員間における慶弔の在り方について、次のとおり提言する。</p> <p>1 訃報の連絡は、配偶者、父母子(配偶者の父母は同居している者)までとする。</p> <p>2 香典の額は個人の問題であるが、あつらえの場合は千円程度とし、「香典返し」は受け取らない。</p> <p>3 参列する場合は、別とする。</p>																				

事務事業名	千人委員会運営事業 *予算 2・1・4 (広報広聴費)
担当課	情報課
現状と課題	<p>1 各界各層の市民の参加を求め、その意見を取り入れ、まちづくりをすすめるため、平成2年に発足、本年度で10年目(第5期目)にある。</p> <p>2 委員会の概要 (1) 委員の構成 一般公募 113人 第1期は602人 (2) 委員会組織 4委員会(まちづくり、こころづくり、しあわせづくり、ふるさとづくり) (3) 活動 委員会ごとに月1回土曜日に会議を開催、市外視察(年1回)、市内視察(年数回)、講演会の開催 (4) 提言内容 総合福社会館の建設、地区公民館の建設、ごみの分別収集、物流センターの設置、城社公園周辺の整備、ごみ焼却場の建設と余熱の有効利用、市民農園の整備、ボランティア活動の育成支援、近隣市町村との合併など</p> <p>3 課題 (1) 委員から次のような意見がある。 ・市政が身近なものとなり、市政への関心が高まった。 ・意見、提言も第1期から第4期で言い尽くした。後は実行して欲しい。 ・一部の委員が毎回同じ意見を言っている。他人の話に耳をかさないことがある。 (2) 期を追うごとに参加希望者は減少し、会議参加者が10人以下の場合が多い。 (3) まとめられた報告書は、市民総意の提言として位置付けることに疑問がある。 (4) 5期10年目で、マンネリ化の傾向にある。</p>
今後の方針	<p>1 千人委員会は、設立当初の目的を達成したものとし、今季限りで廃止する。</p> <p>2 市民によるまちづくりグループなどへの支援体制を確立するとともに、各事業の実施にあたり計画段階から市民の参加を求める。</p>
実施時期	平成12年度
効果	<p>1 経費の節減 1,863千円 *平成11年度予算額</p> <p>2 事務量の削減 事務局職員の時間外勤務 約144時間</p>
参考	

事務事業名	広報にしおの発行 *予算 2・1・4 (広報広聴費)												
担当課	情報課												
現状と課題	<p>1 広報にしおの発行状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発行回数</th> <th>基本ページ</th> <th>印刷部数</th> <th>印刷色</th> <th>紙面等</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>月2回 1日、16日</td> <td>1日号 20P 16日号 10P</td> <td>30,150</td> <td>2色</td> <td>A4判 R100%</td> <td>1日号 特集あり 16日号 お知らせ</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 平成11年度予算 43,132千円</p> <p>3 課題</p> <p>(1)取材、編集、構成のため、広報担当者の時間外勤務は慢性的な状態にある。</p> <p>(2)町内会長から配布の手間がかかり、発行は月1回で良いとの意見が寄せられている。</p> <p>(3)西三河八市に比較し、印刷費が高く、経費の節減を図る必要がある。</p> <p>(4)印刷は、慣例により印刷業組合と随意契約により契約し、5社の輪番制により行っている。</p>	発行回数	基本ページ	印刷部数	印刷色	紙面等	その他	月2回 1日、16日	1日号 20P 16日号 10P	30,150	2色	A4判 R100%	1日号 特集あり 16日号 お知らせ
発行回数	基本ページ	印刷部数	印刷色	紙面等	その他								
月2回 1日、16日	1日号 20P 16日号 10P	30,150	2色	A4判 R100%	1日号 特集あり 16日号 お知らせ								
今後の方針	<p>1 次により経費の節減を図る。</p> <p>(1)印刷業者の選定方法は、指名競争入札とする。</p> <p>(2)1日号の特集、企画ものを、年4回から6回程度に縮小する。</p> <p>(3)カラー印刷を廃止する。また、お知らせ版は一色刷りとする。</p> <p>2 発行回数については、現行どおり月2回とする。</p> <p>月1回とした場合、経費の節減、担当職員と町内会長の負担軽減が図れると期待されるが、積極的に情報公開を進めようとする方針、また、市民へのタイムリーな情報提供に支障が生ずるおそれがある。市民によるまちづくりグループなどへの支援体制を確立するとともに、各事業の実施にあたり計画段階から市民の参加を求める。</p>												
実施時期	平成12年度												
効果	1 経費の節減 10,000千円												
参考	町内会長の負担軽減のため、代替策として「行政連絡員制度」の導入を検討する。 (経費は、現行の町内会事務委託料の一部を充当)												

事務事業名	市民交通傷害保険 *予算 2・1・11 (市民交通災害対策費)
担当課	総務課
現状と課題	<p>1 市民の交通安全意識の高揚と交通事故による損害を補てんするため、昭和44年度から実施している。</p> <p>2 制度の概要</p> <p>(1) 実施方法 損害保険方式(日動火災海上保険)</p> <p>(2) 保険料 360円 12歳以下及び70歳以上の者は半額</p> <p>(3) 保険金 傷害等の程度により5千円から100万円</p> <p>(4) 加入手続き</p> <p>ア 4月に加入申込書を町内会経由で送付、取りまとめも町内会に依頼</p> <p>加入率 平成10年度 71.4%</p> <p>イ 保険金の請求事務は、保険会社が扱っている。</p> <p>3 平成11年度予算額 一般財源 426千円</p> <p>4 課題</p> <p>(1) 民間の保険制度が、本事業実施当初に比べ充実している。</p> <p>(2) 保険の加入申込書を町内会経由で配布しているため、プライバシーの保護に問題があり、申込書を封書にする等の改善を行う必要がある。</p> <p>(3) 保険料のとりまとめ等町内会の負担が大きい。</p> <p>(4) 金融機関から事務処理上の改善要望がある。</p> <p>(5) 少額保険のため保険対象となっても請求しない例がある。</p>
今後の方針	民間の保険制度に委ね、本事業は廃止する。
実施時期	平成13年度
効果	<p>1 経費の節減 426千円 *平成11年度予算(一般財源)</p> <p>2 事務量の削減 職員1人の1月分</p>
参考	

事務事業名	敬老金、記念品の支給 *予算 3・1・3 (老人福祉費)															
担当課	福祉課															
現状と課題	1 長寿を祝い、敬老の日に次のとおり敬老金及び記念品を支給している。 <table border="1" data-bbox="504 517 1388 674"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象者</th> <th>金額等</th> <th>対象人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敬老金</td> <td>数え年85歳～</td> <td>5千円</td> <td>1,670人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">記念品</td> <td>" 90～99歳</td> <td>座布団(3,000円)</td> <td>650人</td> </tr> <tr> <td>" 100歳～</td> <td>毛布(14,000円)</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> 2 平成11年度予算額 10,518千円 3 課題 (1) 敬老金については、バラまき行政の指摘がある。 (2) 介護保険制度をはじめ高齢者福祉事業の質的充実を図る必要がある。 (3) 愛知県では、平成11年度から「節目年齢方式」とした。	区分	対象者	金額等	対象人数	敬老金	数え年85歳～	5千円	1,670人	記念品	" 90～99歳	座布団(3,000円)	650人	" 100歳～	毛布(14,000円)	10人
区分	対象者	金額等	対象人数													
敬老金	数え年85歳～	5千円	1,670人													
記念品	" 90～99歳	座布団(3,000円)	650人													
	" 100歳～	毛布(14,000円)	10人													
今後の方針	1 敬老金及び記念品の支給対象者を数え85歳以上から「節目年齢方式」に改める。 2 支給対象者は数え年88歳と100歳以上の者とする。															
実施時期	平成12年度 (一部平成11年度実施)															
効果	1 経費の節減 6,575千円 *数え年88歳の者に敬老金1万円と座布団を、100歳以上の者に敬老金1万円と毛布を支給した場合 2 事務量の削減															
参考	敬老会について 1 各小学校区単位で開催される敬老会の費用として、委託料を支出している。 75歳以上の者1人あたり 1,300円 2 主催者側の負担が大きい、出席率が悪いとの意見があり、敬老会の在り方について見直す必要がある。															

事務事業名	無料人間ドック *予算 4・1・5 (成人病対策費)												
担当課	保健センター												
現状と課題	<p>1 健康管理の自覚を促し、病気の早期発見、早期治療を行い、医療費の削減を図ることを目的に昭和53年度から実施している。</p> <p>2 制度の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象者</th> <th>費用</th> <th>本人負担額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無料</td> <td>40歳の男女</td> <td>21,401円</td> <td>無料</td> </tr> <tr> <td>有料</td> <td>41歳以上の男女</td> <td>21,926円</td> <td>10,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 受信率 平成10年度 対象者 1,187人、受診者 530人 受信率 44.7%</p> <p>4 平成11年度予算額 一般財源 9,889千円</p> <p>5 課題</p> <p>(1) 西三河各市で無料の人間ドックを実施している市は西尾市のみである。ただし、有料の場合の本人負担額は各市まちまちである。</p> <p>(2) 有料人間ドックの充実を図る必要がある。</p> <p>(3) 40歳の者のみ無料で人間ドックを実施する合理的な理由が少ない。</p> <p>(4) 各事業所において、従業員の健康診断が実施されている。</p>	区分	対象者	費用	本人負担額	無料	40歳の男女	21,401円	無料	有料	41歳以上の男女	21,926円	10,000円
区分	対象者	費用	本人負担額										
無料	40歳の男女	21,401円	無料										
有料	41歳以上の男女	21,926円	10,000円										
今後の方針	<p>1 受益者負担原則により、人間ドック費用の30%程度を本人負担とすることが適当である。</p> <p>2 併せて有料人間ドックの対象範囲、本人負担額について、見直しを図る必要がある。</p>												
実施時期	平成12年度												
効果	<p>1 経費の節減 約3,900千円 *人間ドック費用の30%程度を本人負担とした場合</p>												
参考	<p>1 経費節減額を有料人間ドックの充実に係る費用に充当することが可能となる。</p>												

事務事業名	看護専門学校管理運営 *予算 4・1・7 (看護専門学校費)
担当課	看護専門学校総務課
現状と課題	<p>1 西尾市立看護専門学校は、平成8年4月に開校し、平成11年3月に初の卒業生を送り出している。</p> <p>2 開校後の学校の管理運営と学生の就職斡旋のため参与(嘱託職員)1名を置いている。 *総務課 職員数 正規職員 4人、嘱託職員 1人</p> <p>3 課題 開校後、4年目であり、管理運営上、参与を置く必要性が薄れている。</p>
今後の方針	看護専門学校の参与は廃止する。
実施時期	平成12年度
効果	1 経費の節減 約3,364千円 *平成11年度予算額
参考	<p>1 看護専門学校の管理運営費は、平成11年度予算で162,805千円が計上されている。</p> <p>2 看護専門学校については、学校法人などの民間による運営、又は広域による運営を考える必要がある。</p>